

大阪労働局発表
令和8年1月29日（木）

【照会先】
大阪労働局総務部総務課
（電話）06（6949）6482

「労働基準監督官採用試験 2026 ～働く人の^{いま}現在を守り、未来を支える～」 申込受付開始！！

労働基準監督官とは、労働基準関係法令に基づいてあらゆる職場に立ち入り、事業主に対し法に定める基準を遵守させることにより、労働条件の確保・向上、働く人の安全や健康の確保を図ることを任務とする厚生労働省の専門職員です。

「労働基準監督官になって誰もが安心して働くことができる世の中を作りたい！！」

そんな熱意のある方のご応募をお待ちしております！！

【募集要項】

○受験資格

- ・平成8年4月2日から平成17年4月1日生まれの者
- ・平成17年4月2日以降生まれの者で、次に掲げるもの
 - ①大学を卒業した者及び令和9年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - ②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

○試験の程度

大学卒業程度

○採用予定者数（理工系区分もあります！）

労働基準監督 A（法文系）約 145 名
労働基準監督 B（理工系）約 35 名

○申込受付期間

令和8年2月19日（木）～3月23日（月）

○試験日程

第1次試験 令和8年5月24日（日）
第1次試験合格者発表日 令和8年6月16日（火）
第2次試験日 令和8年7月7日（火）～10日（金）

※ 第1次試験合格通知書で指定する日

最終合格者発表日 令和8年8月12日（水）



働く人の^{いま}現在を守り、未来を支えるため、 労働基準監督官 は日々奮闘しています！！

監督指導業務

事業場を調査し法違反の是正を指導します！

定期的、または労働者からの情報を契機に、事業場に立ち入って労働条件や安全衛生について調査を行います。

調査の結果、賃金不払残業や違法な長時間労働、安全衛生に関する法違反等が認められた場合は、事業主に指導し法違反を是正させます。

法違反を是正させたことにより、労働者から感謝の言葉をいただくことがあります！



①事業場に立入調査へ



②工場内の安全衛生を調査



③労働条件を調査



④法違反について指導

災害調査

重大な労災事故は現場に急行します！

労働者が死亡したり、複数の労働者が負傷する等の労災事故が発生すれば、現場に急行して発生状況を調査し、原因究明を行います。

そして、**二度と同様の事故を発生させない**ために、事業主に対し再発防止対策を講じるよう指導します。



クレーン倒壊事故



実際の災害調査の状況

理工系の方、大歓迎です！

労働基準監督官は、法律を扱うことから文系の職業だと思われがちですが、労働者が安全で健康に働くことができる環境の整備も、労働基準監督官の重要な使命の一つです。

労働基準監督官には、**理工系の採用試験区分**もあり、理工系学科で学んだ知識や、理工学的な思考は、産業現場で起こる様々な問題に対応するために活用できます。



法違反を是正しない事業主は書類送検します！

是正勧告を受けた法違反を是正しないなどの重大・悪質な事案については、**司法警察官**として、刑事訴訟法に基づき、取り調べなどの任意捜査や、搜索・差押え、逮捕などの強制捜査を行い、検察庁に送検します。

司法警察業務によって、社会正義の実現に貢献することができます！



その他、こんな魅力があります！！

様々な現場を通じて知見を深めることができます！！

労働基準監督官の調査は、原則として事業場に立ち入ることにより実施しており、世の中のほぼすべての業種を対象としています。

一般の方が立ち入ることができない建設現場、工場等に立ち入り、**様々な現場を見て実践的な知識・経験を深めることができます！**



研修が充実しています！！

労働基準監督官は、任官後の1年間は研修を受ける期間となります。研修は法令に関する知識や産業の安全衛生に関する知識等を十分に修得できるカリキュラムとなっていますので、**知識に自信がない方でも、研修を通して資質を高め、労働基準監督官として活躍することができます！**



【参考】2025年度労働基準監督官採用試験実施状況

第1次試験の合格率は**約85%**。第2次試験の（最終）合格率は**約50%**。

（単位：人、倍）

試験の区分	申込者数(a)	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数(c)	倍率	
		受験者数(b)	合格者数			a/c	b/c
労働基準監督A (法文系)	2,078 (1,011)	999 (483)	835 (405)	692 (328)	344 (177)	6.0	2.9
労働基準監督B (理工系)	227 (61)	114 (33)	102 (28)	70 (17)	58 (14)	3.9	2.0
計	2,305 (1,072)	1,113 (516)	937 (433)	762 (345)	402 (191)	5.7	2.8

（注1）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

（注2）受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験科目を受験した人数である。